



ロシアの新製造拠点に関して

2019年7月22日、サンクトペテルブルクのマリイノ工業団地に当社のロシアでの製造拠点が竣工いたしました。投資総額は2,100万ユーロ（約24億7,300万円）にのぼります。定礎式には、サンクトペテルブルク市長代行、アレクサンドル・ベグロフ氏、VTB（取引銀行）副総裁・会長、およびマリイノ工業団地経営者、デニス・ポルトニコフ氏、ドイツ連邦共和国サンクトペテルブルク総領事、エルチェ・アデルホルト博士、ドイツ・ロシア海外商工会議所所長、マティアス・シェップ氏をはじめ、主要な販売パートナー、そしてロシアの当社全従業員が参加のもと執り行われました。

ザルスタットグループ取締役会長、ユルゲン・ザルスタットは「1991年に当社がロシアで営業活動を開始して以来、当社製品の需要が伸びていることを受け、この意欲的なプロジェクトを通じ、ロシアならびにその周辺諸国における将来のビジネス展開に重要な足がかりを築く運びとなりました。」と、挨拶しました。建設工事の完了は2020年5月を予定しており、製造・倉庫・管理などの機能を持つ新拠点の総面積は9,700平方メートルで、現存のモスクワの営業オフィスに続くロシアでの第二の拠点となります。

定礎式の挨拶でアレクサンドル・ベグロフ氏は、サンクトペテルブルク市をはじめとする周辺地域における同建設プロジェクトの重要性を強調しました。

「高水準の技術を兼ね備えた製造拠点がサンクトペテルブルクに建設され、また、市民の雇用創出にも、我々は高い関心を寄せています。」



（左より）デニス・ポルトニコフ氏、ユルゲン・ザルスタット氏、アレクサンドル・ベグロフ氏

新製造拠点では新たに約40名の雇用が見込まれ、当社の採血システム製品、S-Monovette® および Microvette® の製造ライン構築を計画しています。同製造拠点では、市場におけるビジネス展望を見極めながら、既存または新しい製品のライン拡大をも視野に入れています。